

○水生生物モニタリング調査結果一覧（はやま湖G）

<はやま湖G 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
G－1	○	○	○	○	○	○
G－2	○	○	○	－	○	－
G－4	○	○	○	－	○	－

<はやま湖G 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透明度(m)
G－1（表層）	37.7348°	140.8102°	R6. 8. 22	11:00	11:00	28.2	20.0	泥	5Y4/2	植物片	11.4	2.2
G－1（下層）						21.8						
G－2（表層）	37.7267°	140.8223°		10:30	10:30	28.1	22.8	砂泥	5Y3/2	礫, 枝, 葉	5.1	2.2
G－2（下層）						24.7						
G－4	37.7382°	140.8035°		13:50	13:50	23.3	23.1	礫	7.5Y5/3	なし	0.3	>0.5

<はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD	COD	DO	電気伝導率	塩分	TOC	SS	濁度	Cs-134	Cs-137	Sr-90	
調査地点	緯度	経度	日	時刻		(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mS/m)		(mg/L)	(mg/L)	(度)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	
G－1（表層）	37.7348°	140.8102°	R6. 8. 22	11:00	8. 2	2. 4	5. 6	10. 4	8. 2	0. 04	2. 6	3	2. 6	N. D. (0. 0014)	0. 014	—	
G－1（下層）					7. 6	1. 6	4. 9	8. 3	8. 4	0. 05	2. 4	3	2. 3	N. D. (0. 0014)	0. 013	0. 0010	
G－2（表層）	37.7267°	140.8223°		10:30	8. 3	1. 5	5. 5	10. 0	8. 0	0. 04	2. 7	2	2. 6	N. D. (0. 0015)	0. 026	—	
G－2（下層）					6. 8	1. 0	3. 9	1. 0	8. 2	0. 05	1. 9	6	5. 9	N. D. (0. 0015)	0. 041	—	
G－4	37.7382°	140.8035°		13:50	7. 6	<0. 5	2. 9	8. 3	8. 5	0. 05	1. 4	1	0. 8	N. D. (0. 0014)	0. 014	—	

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
G－1	37.7348°	140.8102°	R6. 8. 22	11:00	6.9	235	62.5	15.5	57.0	2.480	0.0	0.0	0.2	7.9	70.1	21.8	0.026	2.0	18	1600	2.2
G－2	37.7267°	140.8223°		10:30	6.9	253	37.4	6.0	13.0	2.570	1.1	1.2	5.0	36.0	45.0	11.7	0.062	9.5	9.9	670	－
G－4	37.7382°	140.8035°		13:50	7.5	338	22.7	2.6	1.6	2.650	35.0	27.7	28.0	7.4	1.9		1.3	9.5	2.7	190	－

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<はやま湖G 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
G-1 G-2 G-3	湖内	37. 7348° 37. 7267° 37. 7302°	140. 8102° 140. 8223° 140. 8307°	R6. 8. 22	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン（浮遊藻類）	—	0. 032	—	—	—	N. D.	N. D. (1. 4)	N. D. (1. 2)	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	2	1. 9	成魚	不明消化物	内臓除去	33	N. D. (1. 4)	33	0. 93
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	2. 1	成魚	不明消化物	内臓除去	27	N. D. (1. 3)	27	0. 49
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	2. 9	成魚	不明消化物	内臓除去	40	N. D. (1. 3)	40	0. 42
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サシマス	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	93	1. 2	未成魚/成魚	—	—	11	N. D. (1. 4)	11	0. 42
G-4	流入河川	37. 7382°	140. 8035°	R6. 8. 22	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0. 0031	—	—	—	570	N. D. (54)	570	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	243	0. 17	幼虫(ヤゴ)	—	—	3. 4	N. D. (0. 44)	3. 4	—
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Davidius</i> sp.	ダビドサナエ属									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Sinogomphus flavolimbatus</i>	ヒメサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	ヤンマ	<i>Planaeschna milnei milnei</i>	ミルンヤンマ									
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	45	0. 029	幼虫	—	—	2. 8	N. D. (1. 7)	2. 8	—
					節足動物	軟甲	エビ	スズエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	507	0. 056	未成体/成体	—	—	11	N. D. (2. 3)	11	—
					軟体動物	腹足	盤足目	カニ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ	30	0. 018	未成体/成体	—	軟体部	6. 8	N. D. (2. 0)	6. 8	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	アブラハヤ	18	0. 029	未成魚	—	—	7. 7	N. D. (2. 3)	7. 7	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	44	0. 17	未成魚	—	—	7. 1	N. D. (1. 4)	7. 1	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	33	0. 30	未成魚/成魚	—	—	13	N. D. (1. 6)	13	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	4. 3	成魚	不明消化物	内臓除去	33	N. D. (1. 3)	33	1. 2
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou masou</i>	サクラマス	1	0. 68	未成魚	空胃	内臓除去	39	N. D. (1. 2)	39	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サシマス	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	1	0. 36	未成魚	空胃	内臓除去	20	N. D. (1. 5)	20	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	87	0. 13	未成魚/成魚	—	—	3. 7	N. D. (0. 55)	3. 7	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius flumineus</i>	カワヨシノボリ									
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius</i> sp.	ヨシノボリ属									
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	0. 98	成魚	アブラハヤ、オイカワ、アブラゼミ	内臓除去	62	N. D. (2. 7)	62	0. 54
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	2	2. 1	成魚	空胃	内臓除去	59. 7	1. 7	58	0. 43
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1. 3	成魚	空胃	内臓除去	120	N. D. (1. 9)	120	0. 67
					粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0. 21	—	—	—	72. 8	1. 8	71	—

※１：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※２：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※３：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※４：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※５：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※６：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※７：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※８：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。